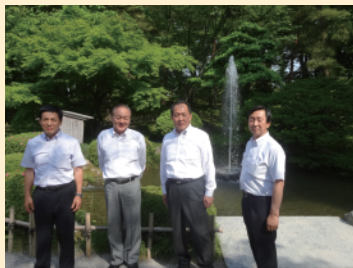


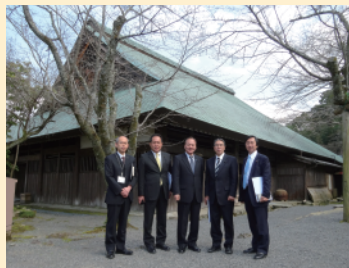


活動報告 ～Photo Albums～

江川邸や反射炉をはじめ、
富岡製糸場等、視察に行きました。



↑金沢兼六園にて



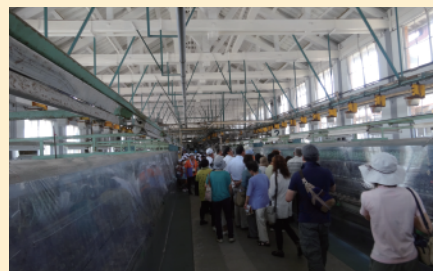
↑江川邸にて



↑富岡製糸場↓



↑東部の県議会議員と反射炉視察



世界遺産決定2日前に視察に行きました。上州富岡駅から製糸場まで歩いて10分。近づくにつれ、平日なのに多くの観光客とすれ違いました。製糸場に着くとお祭りのような賑わいで、世界遺産効果の凄さを実感しました。



↑浜名湖花博 2014 開会式出席

一日も早く実がなるようにこれからも頑張ります。

今回は、議会での一年の始まりの様子を皆さまに理解して頂こうと、事業の説明や数字が多く、内容が難しかったかもしれません。平成26年度は、中面の報告にある決まった事業が粛々と実行されていくことになります。緊急事態やよほどのことがない限り、事業の変更は考えられません。今後は、来年度に向けた新たな事業を研究・調査し、事業化できるように関係各部との綱引きになっていきます。少しでも多くの種をまき、一日も早く実がなるように頑張っていきます。

り、事業の変更は考えられません。今後は、来年度に向けた新たな事業を研究・調査し、事業化できるように関係各部との綱引きになっていきます。少しでも多くの種をまき、一日も早く実がなるように頑張っていきます。

私の一般質問が、
今年度は12月議会に
決定しました。

日程等の細かい部分は未定ですが、前回（平成26年3月）同様、多くの傍聴をお願いしたいと思います。次回の県政報告には詳細をお知らせできると思いますので、ぜひご参加ください。

◎ご意見・ご要望などお気軽にお寄せください。

土屋もとよし事務所

〒410-2211 伊豆の国市長岡197-1
TEL. 055-948-9635 ・ 055-948-0267 FAX. 055-947-1811

土屋もとよし

検索

URL: www.tsuchiya-m.com



メール会員を募集しております。

携帯の方は左記のQRコードを読み込むか、moto@67865.r.at-ml.jp まで空メールをお送り下さい。パソコンの方は moto@tsuchiya-m.com まで「メール会員希望」とご連絡ください。

「もっと! よし!」
を合い言葉に!!



静岡県議会議員 [伊豆の国市選出]

もっとよし! レポート。



発行者: 土屋もとよし 発行日: 平成26年 6月28日

〒410-2211 伊豆の国市長岡197-1 TEL. 055-948-9635 ・ 055-948-0267 FAX. 055-947-1811

土屋もとよし県政報告

Vol.4

日頃より、大変お世話になっています。

こんにちは! 土屋もとよしです。



5月の臨時議会も終わり、県議会議員として、あっという間の一年が過ぎたんだなと実感しています。

今年も昨年同様、各種団体の総会や会合にできるだけ顔を出そうと、毎日のように走り回っています。今年は昨年と比べ、挨拶するのに多少の余裕ができて、お伝えしたいことをきちんと話せるようになりました。これからも皆さまの期待に応えられるようしっかりと活動していきます。

臨時議会では、議長・副議長の選任、各委員会の構成、特別委員会の構成などがその日で決定します。

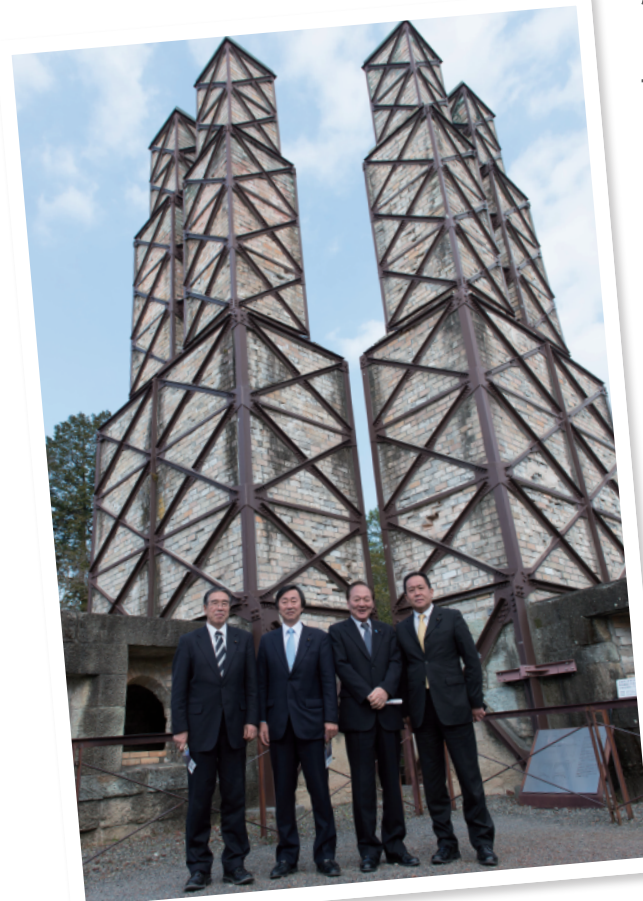
私は「文化・観光委員会」に所属し、副委員長を仰せつかりました。反射炉の世界文化遺産登録を少しでも後押しできたらと思っています。

また、静岡県の観光、特に伊豆地域の観光振興は積極的に推進していかなければなりません。自分の希望していた委員会ですので、気を引き締めて活動していきます。

また、特別委員会は、「次世代人材育成特別委員会」

に所属することになりました。

学力向上対策やスポーツ振興、文化活動などによる次世代の人材育成全般について調査・提言をしていくことになっています。内容は非常に難しいテーマですが、その分やりがいもあり、委員会活動を楽しみにしています。



伊豆の国市に関わる事業

2 月議会(2月21日～3月19日)で、平成 26 年度の予算(約 1 兆 1 千 8 百億円)が決定しました。ここでは、その中から伊豆の国市にも関わる事業をご紹介します。

県の事業は、身近なことばかりではないので、分かりづらいかもしれません。しかし、少し興味を持って見ていくと、こんな事業が県の仕事かと理解できるかと思います。
(県が事業主体ではなく、市町への助成事業を含む)



〔経営管理〕		(単位は千円)
新エネルギー導入促進事業助成	709,000	
避難所等太陽光発電設備導入推進事業助成	645,000	

〔くらし環境〕	
プロジェクト「TOKAI-0」総合支援事業費	1,060,000
環境配慮型住宅改善事業費助成	258,000
野生鳥獣緊急対策事業費	57,900

〔文化観光〕	
韮山反射炉世界文化遺産登録推進事業費	9,200
伊豆半島ジオパーク推進事業費	11,200
海外誘客推進事業費	120,700
観光施設整備事業	920,000

〔健康福祉〕	
福祉医療費助成	4,242,000
放課後児童クラブ運営費助成	1,096,000
地域医療再生基金関連事業費	1,885,790

静岡県の行なう事業は、多岐にわたり多くの事業があります。紹介した事業だけでも、県と市の関わりは非常に大きな関係があることが分かります。伊豆の国市がすべての予算を使えるわけではなく、県と連携を取りながら必要な助成を使って事業を行っていくことになります。

例えば、TOKAI-0 の耐震補強の事業は、市でも積極的にPRをしており、市民の地震対策の取り組みを進めています。環境配慮型住宅改善事業費助成は、商工会で進めているリフォーム事業と一緒に展開でき

るように、県事業の内容を市や商工会にも説明し、市民へ事業の上手い活用方法を情報提供するよう働きかけています。

また、反射炉やジオパークの予算は、登録に向けた事務的な経費だけで、環境整備事業費は別予算になってきます。その予算をしっかりと付けるように働きかけるのが、自分の役割だと思っています。

一般公共事業費では、市民や地域から要望事項に上がった課題や問題点を整備する予算であり、国・県道

〔経済産業〕		(単位は千円)
6次産業化推進事業費	57,860	
強い農業づくり整備事業費助成	752,100	
鳥獣被害防止総合対策事業費助成	62,000	
小規模事業経営支援事業費助成	2,489,900	

〔交通基盤〕	
一般公共事業費	78,601,000
災害復旧事業費	8,732,000
森の力再生事業費	1,006,000

〔教育〕	
学力向上推進事業費	320,000
生徒指導等推進事業費	406,700
特別支援学校管理運営費	1,103,600

〔警察〕	
学校対策支援活動事業費	63,844
交通安全施設等整備事業費	3,216,418

や河川、急傾斜地の整備など、多岐にわたっています。災害復旧事業は、緊急性を要す事業ですので、現状把握と早期の事業執行を実行する役割も担っています。

私自身が地域のすべての情報に精通しているわけではありません。農業の課題・教育の問題や子育て支援、交通事故が多発する場所の整備など、皆さんからの情報や市との連携があってこそその活動になります。しっかりと地域の情報を把握し、活動していきたいと思いますので、皆さまからの情報をお待ちしております。

平成 26 年度の当初予算で実施する事業個所です。(県の単独事業)

《沼津土木事務所》		
場 所	内 容	(単位は千円)
函南韮山反射炉線(韮山山木)	道路拡幅(道路改良)	15,000
韮山・韮山停車場線(四日町)	アスファルト舗装工(交通環境改善緊急対策)	10,000
田原野函南停車場線(浮橋)	道路拡幅(道路改良)	5,000
414号線(小坂)	大門橋詳細設計(道路施設震災対策)	5,000
函南停車場反射炉線(奈古谷)	アスファルト舗装工(交通環境改善緊急対策)	20,000
函南停車場反射炉線(韮山多田)	アスファルト舗装工(交通環境改善緊急対策)	15,000
一級河川戸沢川(長岡)	工損保障(河川改良)	30,000
一級河川堂川(土手和田)	流域貯留施設設計(河川改良)	10,000
古奈 No.2	法面工(県単急傾斜地崩壊対策)	44,000

《東部農林事務所》		
(単位は千円)		
北江間	バルブ交換8箇所(県単独農業農村整備事業)	1,000 補助
小坂	流路工(県単治山(補助))	6,000 補助



静岡県の観光の方向性!

今年度、文化観光委員会の副委員長として、「ふじのくに観光躍進計画基本計画」をもとに、委員会活動に取り組みます。この計画は、新総合計画の策定に合わせ、観光分野の平成 26 年度から平成 29 年度までの 4 年間における具体的な行動計画として策定しています。

- しずおかの魅力を「創る(つくる)」
“ふじのくに”の真の魅力を活用した観光地づくり
- しずおかの魅力に「誘う(いざなう)」
ターゲットを明確にした誘客促進
- しずおかの魅力で「もてなす」
おもてなし日本一の基盤づくり

ふじのくに観光躍進基本計画の推進

《数値目標》項目	基準値	目標値(H.29)
旅行中のレジャー活動に占める体験型観光の割合	32% (H.24)	40%
地域の多様な主体が参画した観光地づくりに取り組む事業主体数	15事業体 (H.25)	30事業体
静岡県へ再び訪れたいと強く感じる観光客の割合	63% (H.24)	66%
県内旅行消費額	5,728億円 (H.24)	6,700億円
外国人延べ宿泊客数	47.4万人 (H.24)	87万人

この様に、数値目標も掲げ観光振興の躍進を目指して事業を進めていきます。委員会では、この計画の進捗状況をしっかりとチェックしていきます。特に、観光が基幹産業である伊豆における振興は、地域の死活問題ですので、より厳しく見ていきたいと思っています。